

鞍ヶ池公園植物園ボイラー保守点検管理委託仕様書

この仕様書は、鞍ヶ池公園植物園に設置しているボイラーの保守点検管理等について、必要な事項を定めるものとする。

1 委託名 鞍ヶ池公園植物園ボイラー保守点検管理委託

2 業務場所 豊田市矢並町地内（植物園）

3 管理内容

（１）温室用ボイラー

・日本サーモエナー製真空式温水ボイラー（１号缶）

型式：KSAN-250HH、291,000kcal/h

製造番号S025K3831

・日本サーモエナー製真空式温水ボイラー（２号缶）

型式：KSAN-250HH、291,000kcal/h

製造番号S025K3521

・自動制御装置

（２）水槽用ボイラー

・低圧用温水ボイラー 型式：AS-502型

・冷水チラー ダイキン工業製

・循環装置 温水循環ポンプ

冷水循環ポンプ

・付帯装置 濾過装置

ブローアerpンプ

殺菌灯

4 点検回数（別表１工程表参照）

(1) 目視点検…設備の運転状況を記録

・ 温室用温水ボイラー	4月～5月、11月～3月	4回／月
(1号缶・2号缶)	6月・10月	2回／月
	7月～9月	1回／月
・ 水槽用温水ボイラー	4月～5月、11月～3月	4回／月
	6月	3回／月
・ 水槽用チラー	7月～10月	3回／月
・ 温水循環ポンプ・冷水循環ポンプは漏れ、異音、異振動など		
	温水 4月～6月、11月～3月	3回／月
	冷水 7月～10月	3回／月
・ 付帯装置はポンプ・弁類の漏れ処置、弁の操作による流量調整		
	4月～3月	3回／月

(2) 保守点検…停止中、待機中の設備を運転して記録

・ 自動制御の作動確認と調整（設定値見直し、火災検知器、覗き窓掃除等）		
・ 各部漏れ箇所の増し締め及び暫定処置		
・ 植物園用（1号缶・2号缶）	10月～3月（月1回）	
・ 水槽用温水ボイラー	4月～6月、11月～3月（月1回）	
・ 水槽用チラー	7月～10月（月1回）	
・ 温水循環ポンプ・冷水循環ポンプはポンプ・弁類の漏れ処置		
	温水 4月～6月、11月～3月（月1回）	
	冷水 7月～10月（月1回）	

(3) 点検整備…シーズンオフに実施

・ ボイラーは燃焼用バーナーを引出し分解整備	
・ 点火トーチのギャップ・角度調整並びに点火試験	
・ 燃焼室内点検清掃	
・ 煙道及び煙突は点検口を開放し、煤回収、堆積物及び錆除去	
・ 温室用ボイラー	9月（年1回）
・ 水槽用温水ボイラー	9月（年1回）
・ 煙道・煙突	9月（年1回）

- ・自動制御装置

大ドーム・小ドーム・通路・育苗室の屋根等の窓開閉モジュト口弁の機能
点検、各測定点温度と天窓の動作確認（年1回） 別表2参照

（4）冷・温水切換え 水槽用チラー 7月（年1回）

5 運転管理要領

（1）温室用ボイラー

- ・1号缶と2号缶を交互運転する。
- ・室内温度が18℃以下になったら運転を開始する
- ・運転期間は 4月1日～6月下旬、10月下旬～3月31日
- ・適正温度は15.0～28℃（その年の気象状況や園内の温度を考慮する）

（2）水槽用ボイラー

- ・水槽の水温が25℃以上になる時期に運転開始する。
- ・水槽の適正温度は、23.0℃から23.5℃ ±0.5℃
- ・水槽・冷水管内の水抜き掃除を行い、循環水の入れ替えをして付帯機器の機能点検を実施する。

6 その他

- （1）委託業務に従事する従業員は、資格、技能等で適した者を配置し、秩序ある業務を実施すること。
- （2）作業記録は1ヶ月毎に作成し、作業の写真（着手前・作業中・完了）を添えて報告すること。
- （3）委託管理上必要とする修理に係わるものが発生した場合は、委託者と協議し指示を受けること。

植物園ボイラー制御盤(JX-10)点検項目

(自動制御内訳)

分 類	名 称	数 量	点検内容
1 自動制御機器			
	風雨検出系統	1 式	作動チェック
	大温室温度制御	1 式	作動チェック
	中温室温度制御	1 式	作動チェック
	小温室温度制御	1 式	作動チェック
	通路室温度制御	1 式	作動チェック
	育苗室温度制御	1 式	作動チェック
	温水ボイラー制御	1 式	作動チェック
	バイパス制御	1 式	作動チェック
	池温度制御	1 式	作動チェック
	オイルタンク廻り制御	1 式	作動試験
	計測系統制御	1 式	作動チェック

☆ ボイラー制御盤に中央監視装置が付いているが、使用していないので点検項目に含めない。